

本事業に取り組むエリア(自治体名)	北海道札幌市手稲区	
本事業の実施主体	医療法人溪仁会	
本事業に参画する団体名	医療法人溪仁会	
地域の状況	①人口	141,000人
	②地域の特徴	人口190万都市札幌市の西端に位置し、小樽市、石狩市と隣接する。高齢化率32.3%
	③災害等の歴史	2018.9 胆振東部地震による広域停電を経験した。
	④在宅医療ケア資源と病院等との連携	医療機関14(災害拠点病院含む)、有床診療所11、訪問看護ステーション19などがあり良好な連携が取れている。
	⑤その他特記事項	災害拠点病院を中心に対応するものの、在宅事業利用者への区としての対応は未整備である。
地域の課題	①これまでの被災経験・コロナ対応で特筆すべきこと	行政を巻き込んだ在宅連携体制が確立されていない。
	②連携型BCP・地域BCPとして考えるようになった理由	広域停電を経験し、課題が明確になったため。
	③わが地域のBCP観点からの課題	在宅連携体制が確立されていない。
	④その他特記事項	特になし
取り組み内容と目標	今年度のプラン	<p>1)訪問看護の連携型BCP策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーションは法人内のステーションは月1回打合せを行いながら機関型BCPを策定でき、手稲区内の訪問看護ステーションと連携し、連携型BCP策定を目指している。 <p>2)法人内の連携型BCP策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有事において、訪問看護を優先、縮小、一時中止業務のいずれに決定するのか、そのプロセスをまとめる。 ・縮小、一時中止業務になった部署や事業所の機能をどうするのか、人員をどのように再配置するのか検討する。